

言葉の順序や主語と述語の関係に気を付けて、文を書こう

「文の組み立て」①

名前( )

教科書六十四・六十五ページを見て考えましょう。

《言葉の順序》

- ① 「植えた」「木を」「庭に」「ぼくは」「昨日」の五つの言葉をならべかえて、意味の通る文を作りましょう。

Empty rectangular box for student response.

（「植えた」のような、文の述語に当たる言葉は、書き言葉ではふつう、文末に置きます。）

《主語と述語の関係》

- ② 次の文の中の、主語と述語の関係を二組見つけて、( )に書きましょう。

(例) ぼくが植えた木が育った。

主語( ) ぼくが ) 述語( ) 植えた )

主語( ) 木が ) 述語( ) 育った )

① 枝が のび、 葉が しげる。

主語( ) 枝が ) 述語( ) )

主語( ) ) 述語( ) )

③ 券売機が故障したうえに、電車がおくれた。

主語( ) ) 述語( ) )

主語( ) ) 述語( ) )